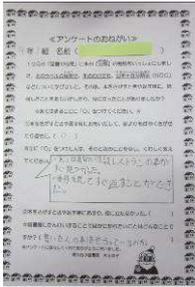
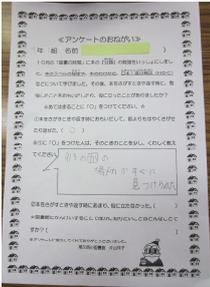


(12) 図書館への興味・関心・理解の啓発

本のラベルの意味と分類の仕方を知ろう！

荒川区立尾久西小学校図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 小学校2～6年生
2	実施時期 : 平成23年9月15日(木)～10月30日(日)
3	概要 : 本のラベルの意味を理解し、自分で本を探せたり、正しい場所に戻せたりできる力をつける。「日本十進分類法」について知り、これからの読書活動に役立てるとともに、学校図書館によりいっそう興味や関心をもてるようにする。
4	<p>内容 【学校図書館の本のしくみを知る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ラベルとは何か ② ラベルが表すこと ③ 分類とは何か→「日本十進分類法」(NDC)について ④ 練習問題にチャレンジ ⑤ 自分の借りている本は「0」～「9」類のどれに入るかな ⑥ 分類表示を見て、自分で本を探してみよう ⑦ 本を正しい場所に戻してみよう <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">    </div>
5	<p>参加者の反応【学校図書館指導員(学校司書)の感想】</p> <p>はじめは、聞きなれない言葉(分類、日本十進分類法)にとまどっていたようだが、本にも“住所”があることを理解すると返却の際にラベルを見ながら迷わずに書架にたどりつける児童が増えた。・「流星」についての本はどこにありますか?という質問に、「4類」の棚をみてごらん…という会話が学校図書館指導員とできるようになった。後日、実施したアンケートには次のような回答があった。「前までは、友達に聞いたりして見つけていたけどすぐに読みたかった本が見つけれられた」「ラベルの2段目で誰が書いたのか分かり、早く見つかったので教室でたくさん本が読めた」</p>
6	<p>連携した諸機関</p> <p>荒川区教育委員会学校図書館支援室</p>